

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	文化会館	事業No.	316
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
			9	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する	
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画		
			飯田市文化芸術振興基本方針		
		人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針			
法令・例規等					
事業目的	対象	市民			
	意図	人形劇フェスタのみならず、年間を通じて人形劇を鑑賞したり、体験したり、公演の企画運営を行い、人形劇のまちとしての魅力や価値を高めます。			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
		・いいだ人形劇フェスタ2020は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、代替企画として、フェスタの動画配信サイトを開設し、フェスタ2020で公演予定であった国内22劇団のPR動画を、フェスタのメッセージと共にWEBで発信しました。また、学校人形劇の発表の場として、フェスタ地区公演実行委員会と飯田市公民館の主催による、学校人形劇の祭典2020を開催し、市内の小中学校6校の人形劇クラブ等が参加しました。 ・龍江小学校の生徒がコロナ禍のシャルルヴィル・メジュール市の状況を学習し、さらに龍江小学校の近況を報告するための手紙をCVM市へ送るため作成しました。		いいだ人形劇フェスタ開催事業負担金				4,000
			「いいだ人形劇センター」活動支援負担金				11,000	
			人形劇公演事業負担金				1,908	
			人形劇創造事業負担金				2,486	
			人形劇のまち国際化推進事業費				902	
			伝統人形芝居保存伝承活動への支援				2,647	
			「人形劇のまち飯田」運営協議会負担金				534	
			人形とけい塔設備保守委託料他				761	
			会計年度任用職員				1,803	
			その他の経費				0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	ワッペンの販売数	枚	12,500	11,597	14,000	15,236	12,000	12,028	12,000	0
	フェスタ期間中の観劇者数	人	40,000	41,647	60,000	60,649	40,000	34,870	40,000	0
	フェスタ以外の人形劇公演観劇者数	人	11,800	12,687	12,000	12,441	12,500	11,445	12,500	2,639
	人形劇創造活動への参加者数	人	900	2,087	800	1,482	800	1,655	800	696
	地域劇団の数	団体					70	71	70	71
	地域劇団の上演回数	回					420	382	420	103

2年度決算(千円)	予算額		特定財源内訳及び補足事項								
		34,651									
		26,041	(国)文化芸術振興費補助金(1/2以内)								
	財源の状況	国庫支出金	1,600	(そ)ふるさと寄附金							
		県支出金	0								
		地方債	0								
その他		1,915									
	一般財源	22,526									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	1	12,654	12,295	人形劇のまちづくり推進事業費
2	1	10	5	7	13	4	4,000	4,000	いいだ人形劇フェスタ開催事業費
3	1	10	5	7	13	10	2,589	1,908	人形劇公演事業費
4	1	10	5	7	13	11	4,054	2,486	人形劇創造支援事業費
5	1	10	5	7	13	12	2,534	902	人形劇のまち国際化推進事業費
6	1	10	5	7	13	14	2,744	2,647	伝統人形芝居振興事業費
7	1	10	5	7	1	3	6,076	1,803	会計年度任用職員人件費
振返り課題認識		・新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中で、いいだ人形劇フェスタ2021を始め、人形劇の公演、創造事業や伝統人形の保存継承の為の研修事業を安心、安全に開催できるよう各種団体と共に検討し実行していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・国や県が示した指針やガイドライン等の感染症対策を講じ、フェスタ実行委員等で実施した、コロナ禍での人形劇公演を想定し開催した試験公演や学校人形劇の祭典での経験を活かしていくことが大切です。							
次年度に向けての取り組み		・感染リスクを限りなく少なくするため、感染拡大地域からの上演劇団や観劇者を制限することや、感染防止対策を徹底した上でのフェスタ開催や人形劇公演、創造事業を実施していきます。また、オンラインを活用した研修事業を検討していきます。							